



▲デッキには日食グラス
を手にした人の列がで
きました



▲雲間から観測できた金環日食

5月21日(月)、田原市と三重県鳥羽市とを結ぶ伊勢湾フェリーで、金環日食を洋上で観測する金環日食観賞臨時便が運航されました。愛知県外などから117名が乗船し、世紀の天体ショーを見ようと、専用サンングラスを手に、太陽を見上げる人の姿が見られました。少し雲があつたものの、神島沖からリング状の太陽を観賞することができ、乗船客からは歓声が上がっていました。

投稿!

鳥羽伊良湖航路活性化協議会

『金環日食』 フェリーで洋上観測

投稿!

たはらまちフェス実行委員会

『第1回たはらまちフェス』 田原市の魅力を発信

5月20日(日)、たくさんの人たちに田原市の魅力を知ってもらおうと、「第1回たはらまちフェス」を開催しました。このイベントのため、「田原まちなか研究会」「NPO法人たはら本舗」「みんなのたはら元氣ネット」で実行委員会を組織し、田原市の魅力をギュッと凝縮した二つの企画を準備しました。

一つ目は、三河田原駅前、地元※みづからのこだわり生産者を集めた物産市「平成御厨ぶらり市」。イベント当日は、野菜、花き、水産物、加工品などを買いたい求めるお客さんで、大変にぎわいました。

二つ目は、商店街や歴史・史跡などを巡るウォークラリー「まちなかおもてなしウォーク」。当日は、田原の中心市街地で地図を片手に散策する人の姿が多く見られました。中でも、豊橋鉄道とのタイアップによる電車車両の体験イベントには、たくさん親子連れが訪れました。

どちらの企画も、予想していた以上の盛況ぶりでした。実行委員会では今回の経験を生かして、今後も田原市の魅力を発信し、地域経済の活性化を促すイベントを展開していきたいと考えています。



●花束を作り人々を魅了した「花男子」の皆さん



●人気を集めたヤギと触れ合うブース



●終日にぎわった「平成御厨ぶらり市」

※御厨とは、皇室や伊勢神宮に特上の産物を献上する土地のこと。渥美半島からも、新鮮な海産物や絹織物、山の幸が届けられていたという。

